

## 全国のホテルで中国語放送が視聴可能に、 インバウンド顧客向けに配信

一般社団法人 日本 OTT イニシアティブ(OTTIJ と略す、東京都目黒区)は中国政府公認インターネット TV 局、未来電視有限公司(中国、天津市)が賛助会員として同法人に参画、同法人の会員向けに中国語放送コンテンツを配信する方針を発表した。未来 TV のホテル向け中国語放送配信が開始されます。

一般社団法人 日本 OTT イニシアティブは商業施設(主としてホテル客室)に向けた多国語放送の配信に必要な放送著作権や配信技術における各権利を管理し、放送コンテンツの商業利用を可能にするために設立された。同法人は会員企業を募り、会員向けサービスとして、放送著作権をクリアした多国語コンテンツをインターネット・インフラ上のサービス(OTT:Over The Top)として供給する事を目指している。

未来電視有限公司(「未来 TV」と略す、中国、天津市)は、中国国家新聞出版広電総局(総称:広電総局)から許諾を得ている7社の内の1社である中央テレビ国際ネットワーク有限公司(CNTV)の子会社。CNTV の運営会社としてコンテンツの配信サービスとSIを事業としているインターネット TV 局で OTT 業務、運営管理、市場開拓、宣伝、関連事業を行なっている。OTT の SARFT(the State Administration of Radio, Film and Television: 広播電影電視総局)からインターネット TV 局として中国国内で最初に許認可された TV 局。

OTTIJ 代表理事:児玉 萬平のコメント:

今、インバウンド顧客は 2300 万人を超える。その中で中国語圏からの顧客は全体の約 60%以上、韓国語も加えれば 80%以上にもなる。2020 年東京オリンピックを控えているにもかかわらず、これだけの顧客に、英語放送を除けば、例え 1 チャンネルでも母国語での放送を供給できているホテルは皆無に近い。

一方でインターネット放送が一般化し、配信技術も多チャンネル・多国語放送に十分対応できる環境にあるにも関わらず、現状は変わっていない。その主な理由として中国語放送を代表とする多国語放送コンテンツの権利義務の不透明感が挙げられる。

私ども OTTIJ はそうした放送コンテンツや基盤技術の権利義務をクリアーにし、サービス(ホテル事業者など)に安心して利用して頂き、その顧客満足の上に向けた支援を続けていきたい。可能ならば、なるべく早期に韓国語、他の言語でも配信を実現させていきたいと考えている。



未来電視有限公司 (中国-天津)



同社と OTTIJ スタッフ

連絡先: OTTIJ 事務局 mail: [office@ottij.org](mailto:office@ottij.org)

URL: <http://www.ottij.org/>

TEL: 03-6657-5015 FAX: 03-3713-2473